

14.こども本の森 中之島



モダン建築が立ち並ぶ中之島公園にある「こども本の森 中之島」は、国内外から寄贈された絵本や児童書、図鑑など約 2 万冊を所蔵する文化施設である。子どもたちが本と触れ合うのに様々な工夫がされていた。

館内は、吹抜空間があり、そこから壁全体に展示されている本を一望できる。壁には、本が展示されているだけでなく、本の中から選んだ言葉が立体的に飾られていたり、二人掛けくらいのスペースがところどころにあったりした。その他にも、子ども目線での家具が多く配置されていた。2 階から3階にかけての階段で、多くの親子が本を読んだり、色々なところに配置してあるイスで子どもたちが本を読んでいて、好きな空間で本を読める環境づくりに感心した。

子どもだけでなく、大人も楽しめる空間になっていて、絵本だけでなく難しい本もあり、私自身とても有意義な時間を過ごせた。選ぶのに迷ってしまうくらい本が多いが、壁に飾られている「言葉」が興味を誘ってくれて、面白い感覚を体験できた。壁全体に本は飾られているが、実際は子どもたちが手に取りやすい位置に置かれているなど、子どもたちが多くの本と出合えるような工夫がされているのを実感した。今までの図書館の概念とは全く違い、子どもたちの自由な想像力をより豊かにしてくれるような自由な図書館になっていて、とても面白いと感じた。

